

# 明野ふくろう便

明野中央病院広報誌 | vol.23

保存療法で効果がみられない場合に他の治療法を検討します。保存

### 腰椎椎間板ヘルニアの治療法

腰椎椎間板ヘルニアの治療法としては、痛みを抑えるための鎮痛薬や湿布薬、腰への負担を減らすコルセットなどを使う保存療法があります。

主な症状は、足の痛み、しびれ、筋肉の麻痺、腰痛等であり、重症の場合には、尿が出にくいなどの排尿障害が起こることもあります。

この飛び出した部分が「ヘルニア」です。このヘルニアが近くを通る神経を圧迫して痛みやしびれなどを引き起こすのが、「腰椎椎間板ヘルニア」です。

人の背骨は椎骨という骨がいくつも積み重なってできています。椎骨と椎骨の間には椎間板があり、クッションの役割を果たしています。椎間板の中にはゼリー状の髄核があり、周りを線維輪が囲んでいます。この背骨を支える椎間板に、日常生活で何らかの負担がかかり、その影響で線維輪に亀裂が生じ、中の髄核が飛び出すことがあります。

この飛び出した部分が「ヘルニア」です。このヘルニアが近くを通る神経を圧迫して痛みやしびれなどを引き起こすのが、「腰椎椎間板ヘルニア」です。

人の背骨は椎骨という骨がいくつも積み重なってできています。椎骨と椎骨の間には椎間板があり、クッションの役割を果たしています。椎間板の中にはゼリー状の髄核があり、周りを線維輪が囲んでいます。この背骨を支える椎間板に、日常生活で何らかの負担がかかり、その影響で線維輪に亀裂が生じ、中の髄核が飛び出すことがあります。

### 腰椎椎間板ヘルニアとは？

椎間板内酵素注入療法  
新たな治療法

保存療法で効果がみられない場合に他の治療法を検討します。保存

### ヘルニア（椎間板内酵素注入療法）

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。

椎間板内酵素注入療法は、ヘルニアという注射薬を使用します。髄核には保水成分（プロテオグリカン）が豊富にあり、水分で膨らんだ状態のヘルニアが飛び出して神経を圧迫しています。この保水成分を分解する酵素を含むヘルニアを髄核に直接注入すると、髄核内の水分が適度に減り、その結果、神経への圧迫が弱まり、痛みやしびれなどの症状の改善が期待されると考えられています。当院では、原則として、手術室にて注射を行っています。



椎間板ヘルニアの注射治療

手術室にてレントゲン台下に横になり、X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら注射を行います。治療チームには高谷ペインクリニック専門医も加わります。

手術室にてレントゲン台下に横になり、X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら注射を行います。治療チームには高谷ペインクリニック専門医も加わります。

手術室にてレントゲン台下に横になり、X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら注射を行います。治療チームには高谷ペインクリニック専門医も加わります。

手術室にてレントゲン台下に横になり、X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら注射を行います。治療チームには高谷ペインクリニック専門医も加わります。

手術室にてレントゲン台下に横になり、X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら注射を行います。治療チームには高谷ペインクリニック専門医も加わります。

椎間板内酵素注入療法を担当する日本脊椎脊髄病学会指導医の中村英次郎理事長



## 外来担当医師のご案内

担当医師名	月	火	水	木	金	土
院長 木下 昭生	午前	○	○	○	○	○ 第1・3土
	午後	○		○		休診
内科部長 西宮 実	午前	内視鏡 (内カメラ)	○		内視鏡 (内カメラ)	○ 第1・3土
	午後	内視鏡 (大腸カメラ)	○		○	休診
渡邊絵里奈	午前			○		
	午後					休診
長松頭太郎	午前					
	午後				○	休診
樋口 義洋	午前					○ 第2・4・5土
	午後					休診



担当医師名	月	火	水	木	金	土
理事長 中村英次郎	午前	○	手術	○	手術	○
	午後	手術 15:30~	○	15:30~	手術	休診
こつ・かんせつ・リウマチ センター センター長 藤川 陽祐	午前	○	○	手術	○	手術
	午後		手術	手術	○	休診
こつ・かんせつ・リウマチ センター 副センター長 原 克利	午前	手術	○	手術	手術	手術
	午後	○	手術	手術	○	休診
こつ・かんせつ・リウマチ センター 背脊外科部長 吉岩 豊三	午前	手術	手術	○	手術	
	午後	手術 背脊専門	○	手術	手術	○
荻本 晋作	午前				手術	
	午後				○ 背脊専門	休診
橋本 二郎	午前					
	午後			○		休診
ペインクリニック 高谷 純司	午前	○		○		
	午後	○				休診

## INFORMATION

診療科目
内科・整形外科・リウマチ科
消化器内科・形成外科
リハビリテーション科・麻酔科
ペインクリニック内科・放射線科

受付時間
月曜日～金曜日 8:30～11:30 14:00～17:30
土曜日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

**病院理念**  
医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

**基本方針**

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

**患者さんの権利について**

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利(セカンドオピニオン)



医療法人社団 唱和会

# 明野中央病院

発行日 2019年3月  
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号  
TEL 097-558-3211(代表) FAX 097-558-3709  
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp  
http://www.akenohp.jp/

# 骨と関節と リウマチの話

当院は、「こつ・かんせつ・リウマチセンター」を開設し、文字通り骨と関節とリウマチの専門治療を行っています。

## “ほね”

骨の主な成分であるカルシウムは、食事によって摂取され、腸で吸収されて血液中に入り、骨に運ばれて新しい骨が作られます（骨形成）。一方で、古くなった骨の細胞は壊されて無くなる（骨



こつ・かんせつ・リウマチセンター  
藤川陽祐センター長

吸収）という新陳代謝を行っています。1年で体全体の骨の2〜3割の細胞が入れ替わっており、骨の強度やしなやかさが保たれていきます。何らかの原因でこの骨形成と骨吸収の新陳代謝のバランスが壊れ、体全体の骨量が減った状態を“骨粗しょう症”と言います。骨粗しょう症になると、骨がいわゆる“ズカスカ”の状態になり、骨の強度が低下して骨折の原因になるなど、要介護、寝たきりなどにつながる危険性が高くなります。当センターでは、骨粗しょう症をはじめとする骨の疾患に対し、薬物治療や運動療法などの専門的治療を行っています。

## “関節”

膝関節の中の骨の表面は、滑らかで弾力性のある軟骨で覆われています。膝を動かしたり体重がかかったりした時に衝撃を吸収するクッションの役目を果たす軟骨は、加齢などにより徐々にすり減り、慢性的な炎症を起こし、動かす度に骨同士がこすれ合っって痛みが生

じるようになります。この「変形性膝関節症」は、軽症であれば生活指導で改善する場合もありますが、進行するとヒアルロン酸の関節内注射や筋力トレーニングなどの治療を行います。このような保存療法を徹底的に行っても症状が改善しない場合、「人工膝関節置換術」という手術も選択肢の一つとして検討されます。すり減った軟骨と骨の傷んだ部分を切除して、金属製の人工の関節に置き換える手術です。当院では、専門医が個々の患者さんの膝関節のCT検査データを基に、コンピュータで膝の3次元画像を作成し、それを基に3Dプリンターでその患者さんの膝関節の実物大の立体模型を作成します。このように作られた模型と補助器具を用いて、実際の手術の前に、人工関節を装着する位置や角度のシミュレーションを行います。このミリ以下単位の細かなシミュレーションを行うことで、以前より正確で安全、迅速な手術が可能になりました。これにより、手術

時間の短縮、患者さんの体への負担軽減が図られ、早期のリハビリテーションと回復を実現しています。当センターでは、膝の他、股関節や肩関節など「関節」の疾患に対して専門的治療を行っています。

## 2018年1年間に当院が行った人工関節手術

手術名	件数
人工関節置換術（膝）	240
人工関節置換術（股）	120
人工関節置換術（肩）	11

## “リウマチ”

関節リウマチの治療は、この10〜20年で大きく進歩しました。それ以前は有効な治療法もなく、患者さんは関節の激痛と進行する関節の変形にただ耐えるしかありませんでした。現在では、早期診断を可能にした検査方法や画期的な薬剤が次々と開発されたおかげで、病状の進行を抑制し、積極的な治療を

行い、良い治療効果が期待できるようになりました。特に「生物学的製剤」という薬剤は、関節リウマチの早期に投与すれば関節の破壊を抑え、病気の進行を抑制するなど、高い治療効果を上げています。ただ、この点滴治療は、肺炎などの呼吸器系の副作用等も報告されており、専門医による注意深い使用が必要になります。当センターでは、外来化学療法室という専用の治療室を設け、日本リウマチ学会指導医、日本リウマチ財団リウマチ登録薬剤師、リウマチケア看護師などの専門スタッフが、細心の注意を払って治療に取り組んでいます。



南向きの明るい治療室では、テレビ付きリクライニングシートでリラックスして治療が受けられます。

## 骨粗しょう・ロコモ教室

# 明野こつ・ロコモ講座

骨粗しょう症やロコモティブシンドローム（運動器症候群）について理解を深め、要介護状態や寝たきりになるのを防ごう！という勉強会、骨粗しょう・ロコモ教室、明野こつ・ロコモ講座。昨年1月からの第1期および9月からの第2期と、既に2回のコースを修了しました。骨や筋肉などの運動器の健康対策をテーマとして取り上げ、月に1度、40名ほどの受講生が集まる「楽しくて役に立つ」勉強会です。整形外科専門医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリセラピストなどの専門職がチームを組んで、楽しく勉強できるよう企画を練りました。毎回違うテーマを取り上げ、腰痛や膝痛などの病気の解説の他、ロコモ予防体操や骨と筋肉に良い料理レシピの紹介など盛りだくさんの内容を用意しました。皆様の健康作りに少しでもお役に立てたでしょうか？当院では、病院運営の基本方針の1つに「地域の健康増進・病気の予防に努めます」を掲げています。今後とも、地域の皆様の健康づくりにも少しでも貢献できるような情報を発信していきたいと考えて

います。そこで、第3期の明野こつ・ロコモ講座を本年5月から開催する予定で準備を進めています。詳しい内容と日程が決まり次第、当院ホームページ等でご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしています！



▲ ゴムを使ってロコモ予防体操

